



乾杯を
もっとおいしく。

NEWS RELEASE

サッポロビール株式会社

「ecoフレンドリー」プロジェクト第4弾 紙使用量約2割削減の包装資材を使用した ビール缶製品のテスト販売を開始

「スモールトライ」を通じたお客様とのコミュニケーションにより、
次世代の容器包装を次々と創造し実用化を目指します

ecoフレンドリー



中身



開封した様子



外観

サッポロビール（株）は、ビール缶製品に使用する包装資材の紙使用量を約2割削減した「サッポロ SORACHI 1984 パパッとパピエコ BOX」を、ECサイト「Amazon.co.jp」で2月23日よりテスト販売します。

サッポログループは、サステナビリティ重点課題のひとつに「循環型社会の実現」を掲げて取り組んでいます。サッポログループ容器包装ビジョン（注1）においては、2050年までに循環型社会に対応した容器包装へ100%変更していくことを目指しており、2023年1月からグループ傘下の当社でも次世代容器包装開発の「ecoフレンドリー」プロジェクトを始動しました。（注2）

通常缶製品を梱包する際は段ボールを使用します（以下、従来品）が、今回の「ecoフレンドリー」シリーズ第4弾の「サッポロ SORACHI 1984 パパッとパピエコ BOX」は、天面と底面を紙製トレイで覆い、外装には古紙パルプ配合率70%の再生紙を採用しました。これにより従来品と比較して紙の使用量を約21%削減し、CO₂排出量約28%の削減が見込まれます。（注3）また、従来品よりもかさばらないため、使用後の外装及びトレイの保管や廃棄、リサイクルの作業が容易になります。

今回は「サッポロ SORACHI 1984」をECサイト「Amazon.co.jp」でテスト販売を実施し、お客様の購入意向や安全性、使用感、取り扱い性を検証して改良を進めながら、今後同資材の本格採用を目指します。

当社は、今後もスピード感をもって環境配慮型の容器包装開発を推進します。積極的に実証実験をしていく「スモールトライ」（注4）を通じたお客様とのコミュニケーションにより、次世代の容器包装を次々と創造し実用化を目指します。

サッポログループは、サステナビリティ方針「大地と、ともに、原点から、笑顔づくりを。」のもとに、サステナビリティ重点課題に対する目標達成に向けて取り組みを進め、「持続可能な社会の実現」と「グループの持続的な成長」の両立を目指します。

- (注1) <https://www.sapporoholdings.jp/sustainability/policy/systems/>
(注2) https://www.sapporobeer.jp/news_release/0000015583/
(注3) 350ml 缶×12 本入の従来品と本商品の紙使用重量および CO₂ 排出量を比較した削減率。
(注4) 少量の市場投入により「小さく試す」こと。

記

- | | |
|-----------|---|
| 1. 商品名 | 「サッポロ SORACHI 1984 パパッとパピエコ BOX」 |
| 2. パッケージ | サッポロ SORACHI 1984 350ml 缶×12 本入
※中味は通常の「サッポロ SORACHI 1984」と同じです。 |
| 3. 販売サイト | Amazon. co. jp
https://www.amazon.co.jp/dp/B0CTTLRV29/ |
| 4. テスト発売日 | 2024 年 2 月 23 日
※テスト販売につき、予定数量がなくなるまでの期間の販売となります。 |
| 5. 販売価格 | 販売サイトにてご確認ください。 |

※Amazon および Amazon. co. jp は、Amazon. com, Inc. またはその関連会社の商標です。

<参考>

- サッポログループサステナビリティ重点課題
<https://www.sapporoholdings.jp/sustainability/policy/systems/>
- サッポロ SORACHI1984 ブランドサイト <https://www.sapporobeer.jp/sorachi1984/>
- サッポロ SORACHI1984 ブランドストーリー <https://www.youtube.com/watch?v=-Xul-mVpSA8>

以上